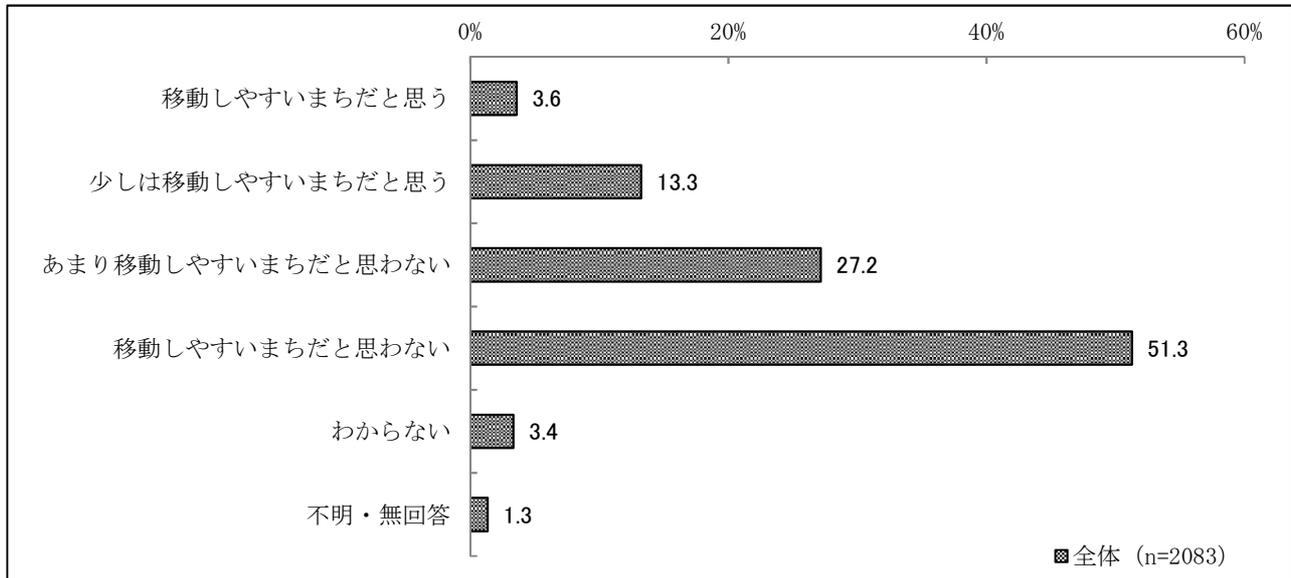


4. 移動しやすいまちづくりについて

(1) 新潟市内の移動について

問18 あなたにとって、新潟市は自動車に頼らなくても移動しやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)



— 約8割が『移動しやすいまちだと思わない』 —

【全体結果】

「移動しやすいまちだと思う」(3.6%)、「少しは移動しやすいまちだと思う」(13.3%)を合わせた『移動しやすいまちだと思う』(16.9%)は2割に満たない結果となった。一方で、「移動しやすいまちだと思わない」(51.3%)、「あまり移動しやすいまちだと思わない」(27.2%)を合わせた『移動しやすいまちだと思わない』(78.4%)は約8割となった。

【属性別結果】(次ページ図4-1参照)

① 地区別

『移動しやすいまちだと思う』の割合は、中央区(22.3%)で高く、2割台であった。一方、『移動しやすいまちだと思わない』の割合は、西蒲区(92.9%)で高く、9割を超えた。

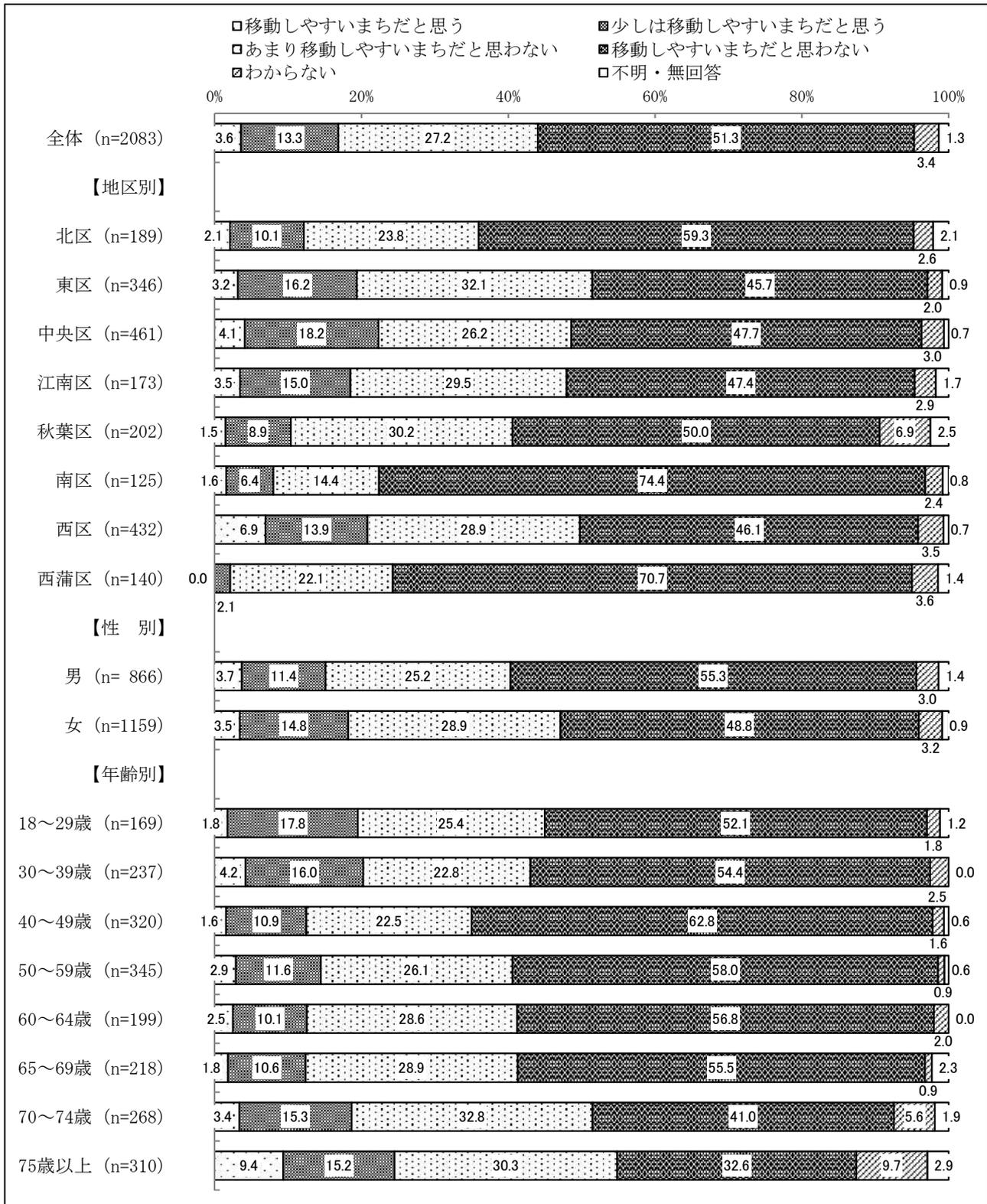
② 性別

『移動しやすいまちだと思う』の割合は、男性(15.1%)と比べて女性(18.2%)で割合がやや高い。

③ 年齢別

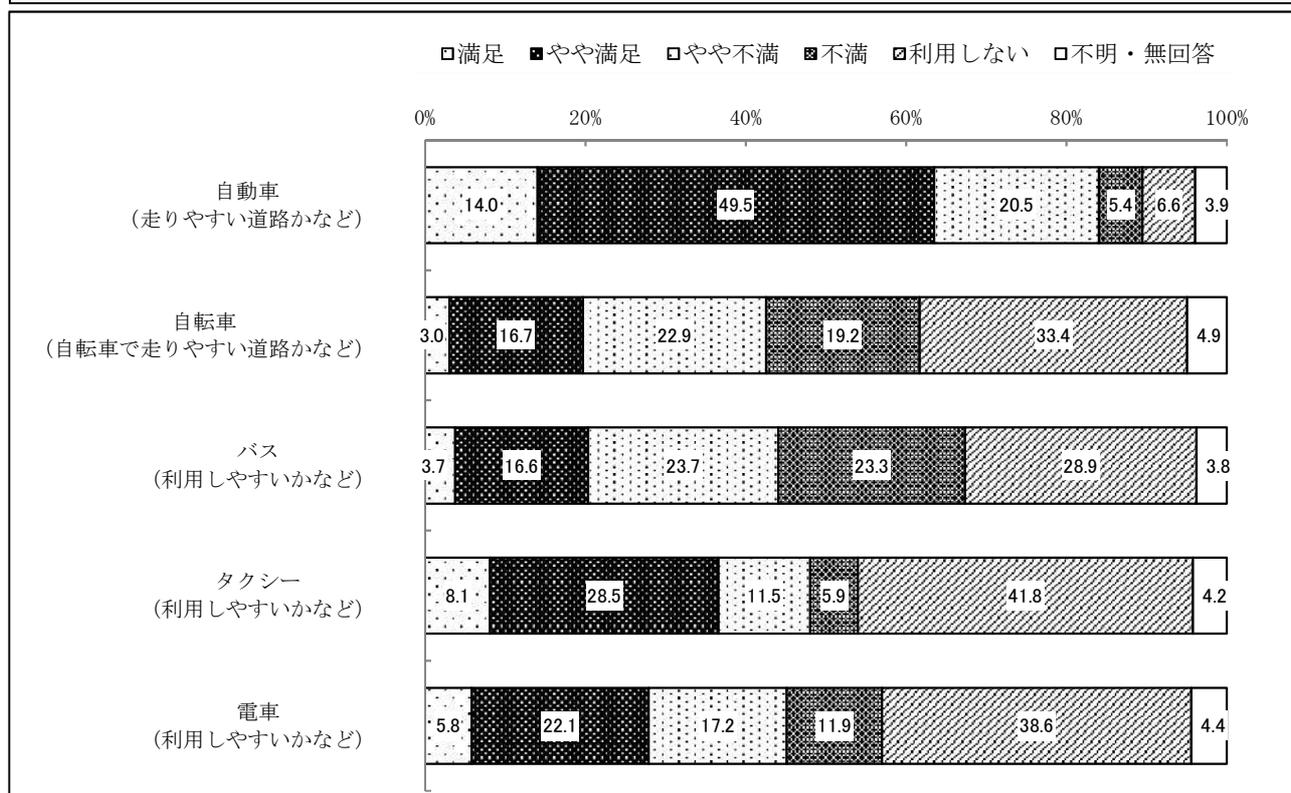
『移動しやすいまちだと思う』の割合は、75歳以上(24.5%)、30~39歳(20.3%)で高く、2割を超えた。一方、『移動しやすいまちだと思わない』の割合は、60~64歳(85.4%)、40~49歳(85.3%)で高く8割半ばを超えた。

図 4-1 新潟市内の移動について（地区別/性別/年齢別）



(2) 交通手段についての満足度

問19 あなたが次の交通手段で市内を移動する際の満足度を教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)



— 6割以上が「自動車」(走りやすい道路かなど)に『満足』 —

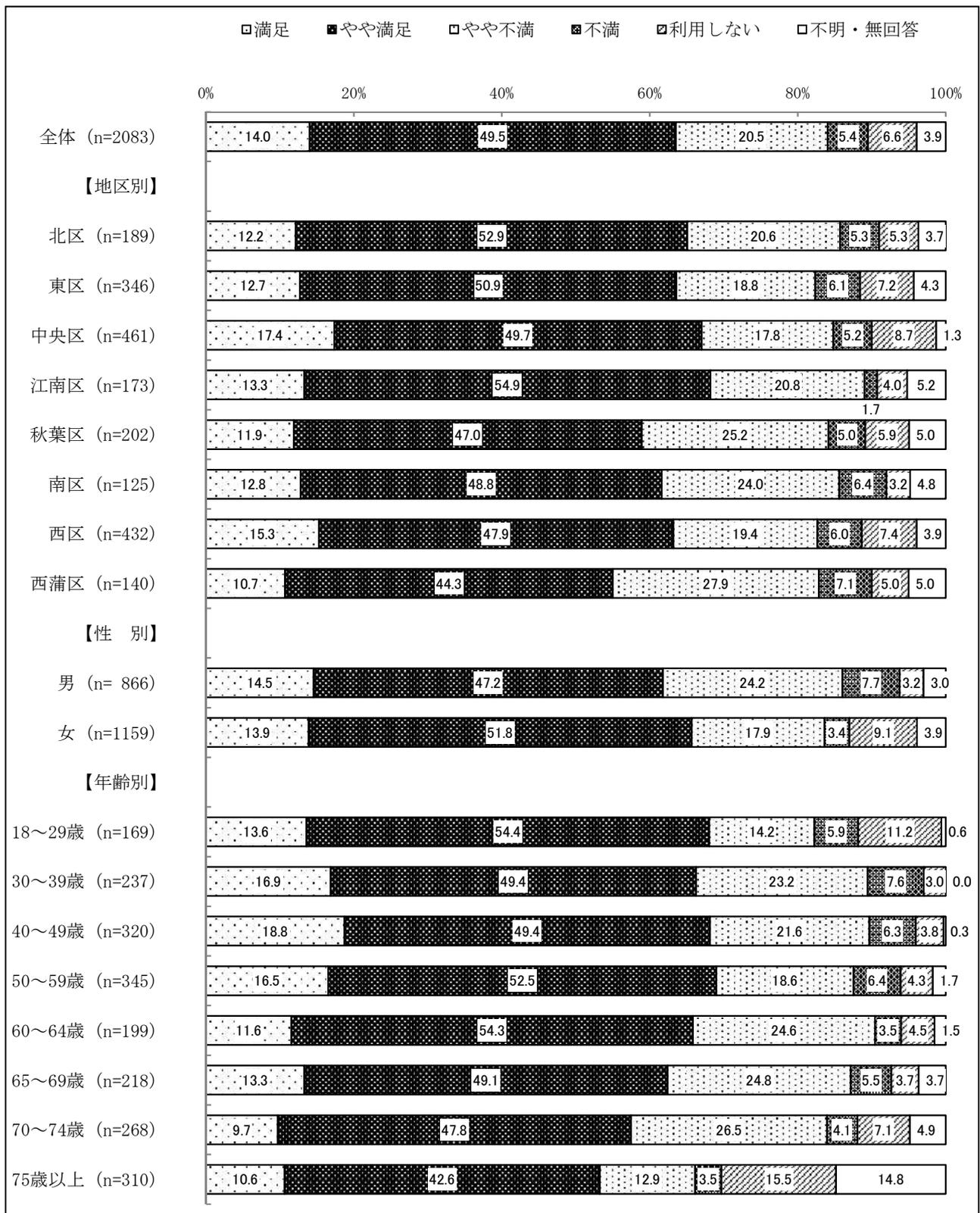
【全体結果】

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合は、「自動車(走りやすい道路かなど)」(63.5%)で最も高く、6割以上となった。次いで「タクシー(利用しやすいかなど)」(36.6%)、「電車(利用しやすいかなど)」(27.9%)と続く。

【属性別結果】

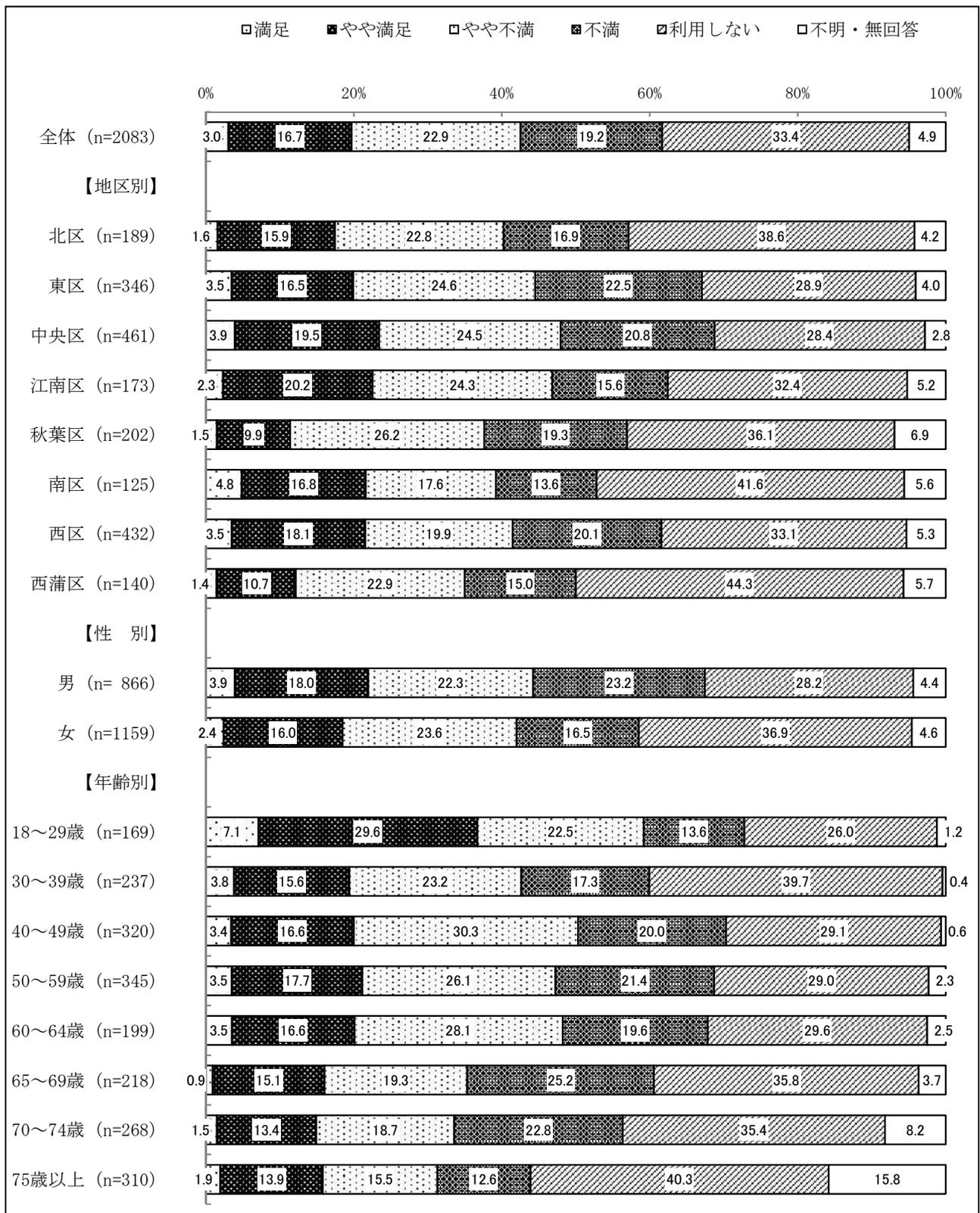
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 自動車（走りやすい道路かなど）



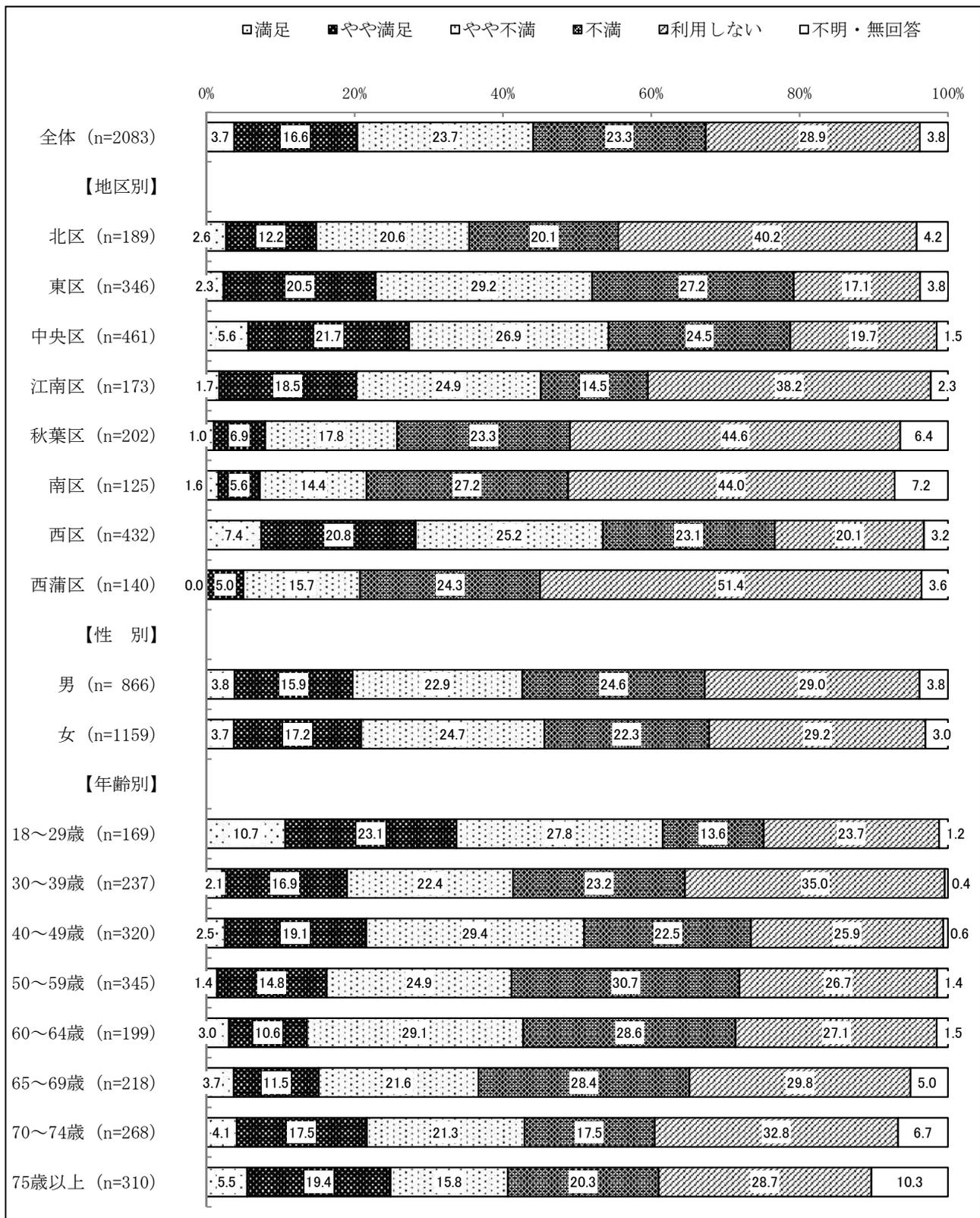
「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、地区別では秋葉区と西蒲区以外で6割を超えた。男性(61.8%)と比べて女性(65.7%)で割合がやや高い。年齢別ではすべての年代で5割を超えたが、年齢が高いほど割合は低くなる傾向にある。

② 自転車（自転車で走りやすい道路かなど）



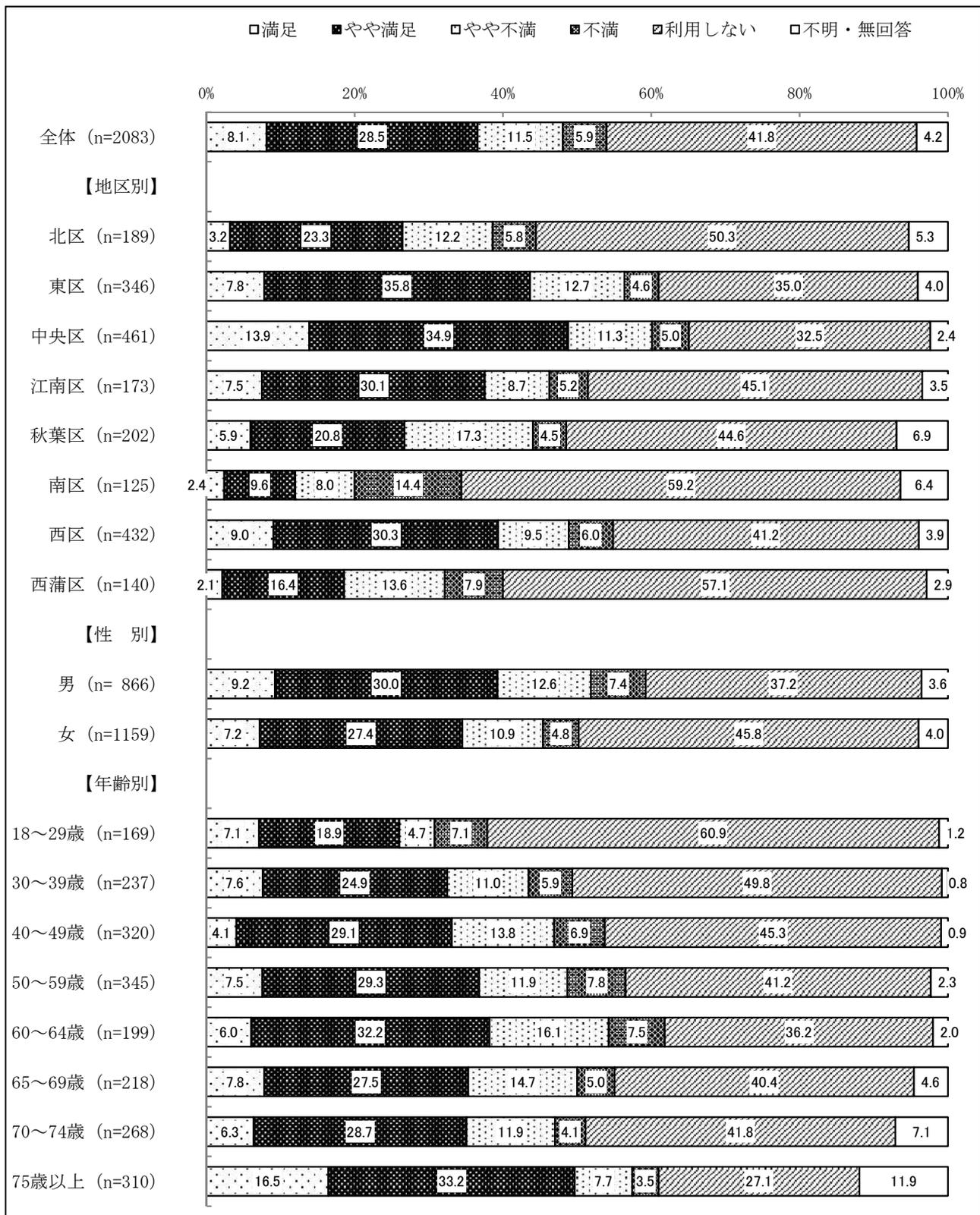
「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、中央区（23.4%）で最も高い。女性（18.5%）と比べて男性（21.9%）で割合がやや高い。年齢別では18～29歳（36.7%）で最も高く3割半ばを超えた。年齢が高いほど割合は低くなる傾向にある。

③ バス（利用しやすいかなど）



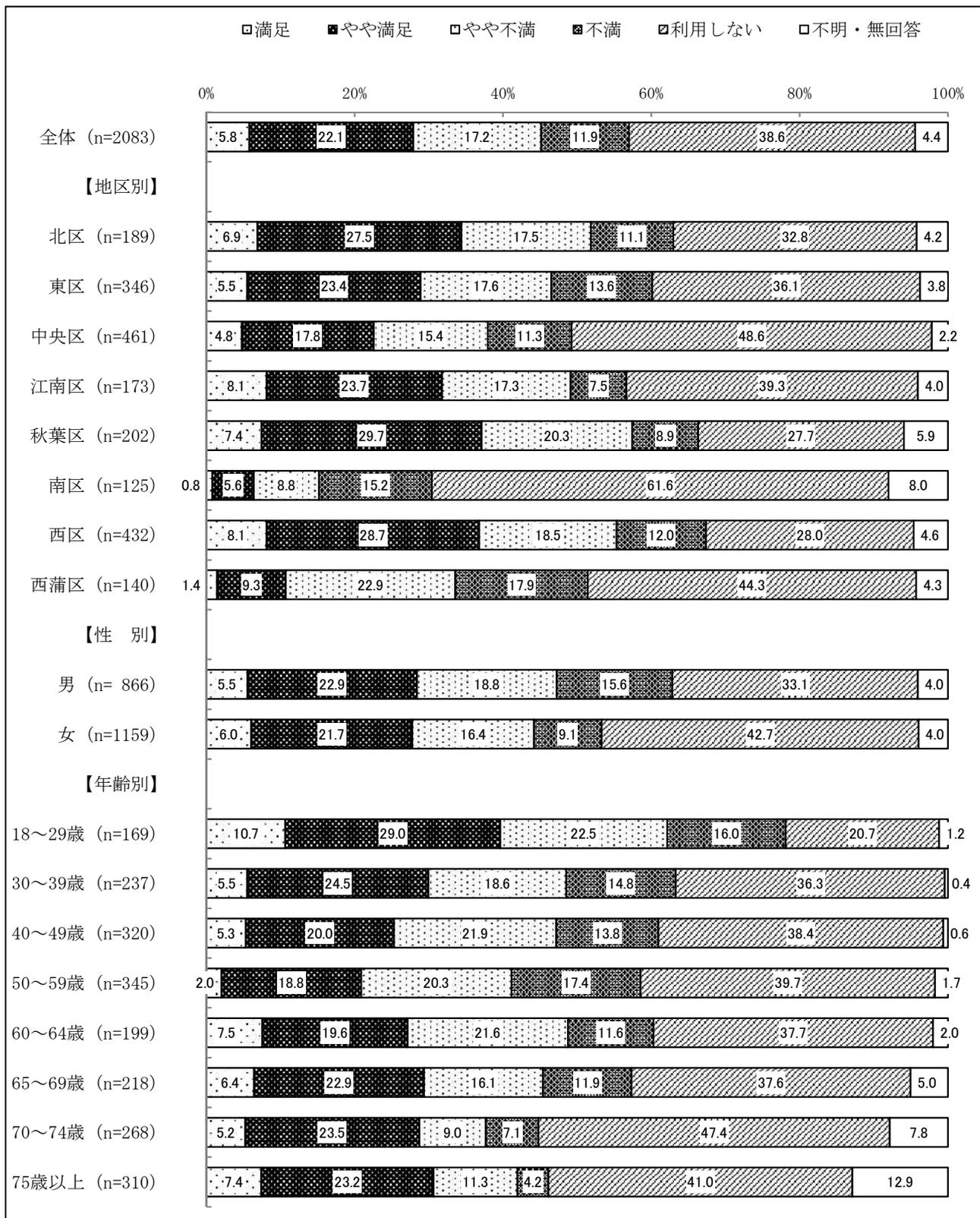
「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、地区別では西区 (28.2%)、中央区 (27.3%)、東区 (22.8%)、江南区 (20.2%) で2割を超えた。秋葉区と南区、西蒲区では1割未満となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳 (33.7%) で最も多い。

④ タクシー（利用しやすいかなど）



「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、地区別では中央区（48.8%）、東区（43.6%）で高く4割を超えたが、西蒲区（18.6%）、南区（12.0%）では1割台となった。女性（34.5%）と比べて男性（39.3%）で割合がやや高い。年齢別では75歳以上（49.7%）で最も高い。

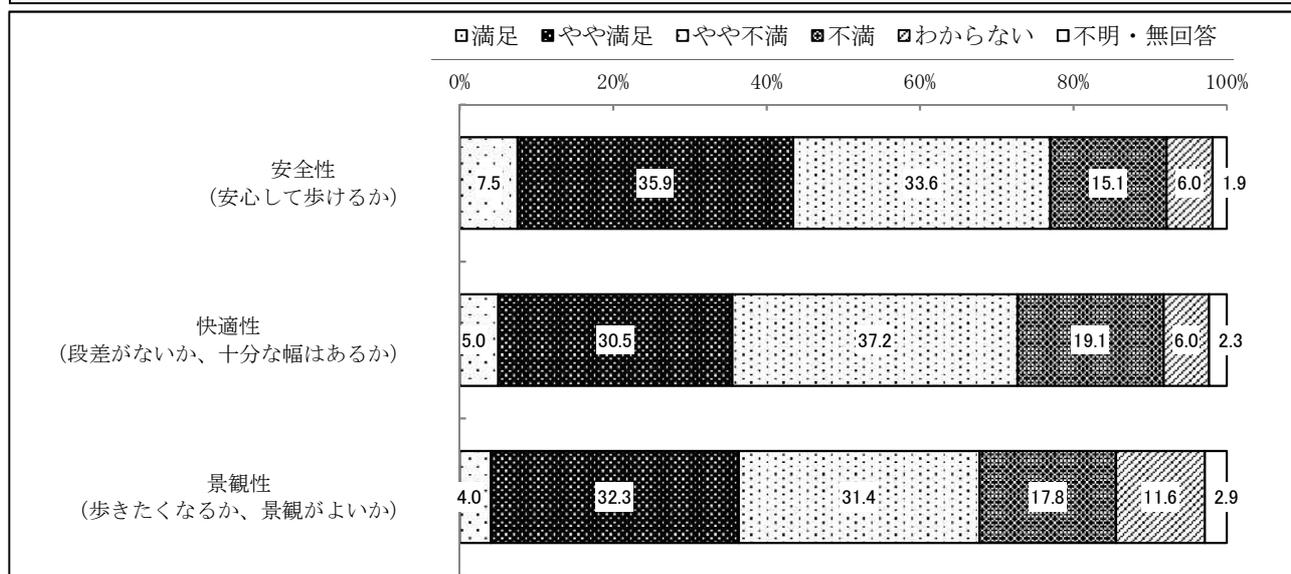
⑤ 電車（利用しやすいかなど）



「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（37.1%）と西区（36.8%）で高く、3割半ばを超えた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（39.6%）で最も高く、約4割となった。

(3) 歩行空間に対する満足度

問20 あなたの歩行空間（歩道や幅広の路肩）に対する満足度を教えてください。（〇はそれぞれ1つずつ）



— 「安全性（安心して歩けるか）」が4割以上 —

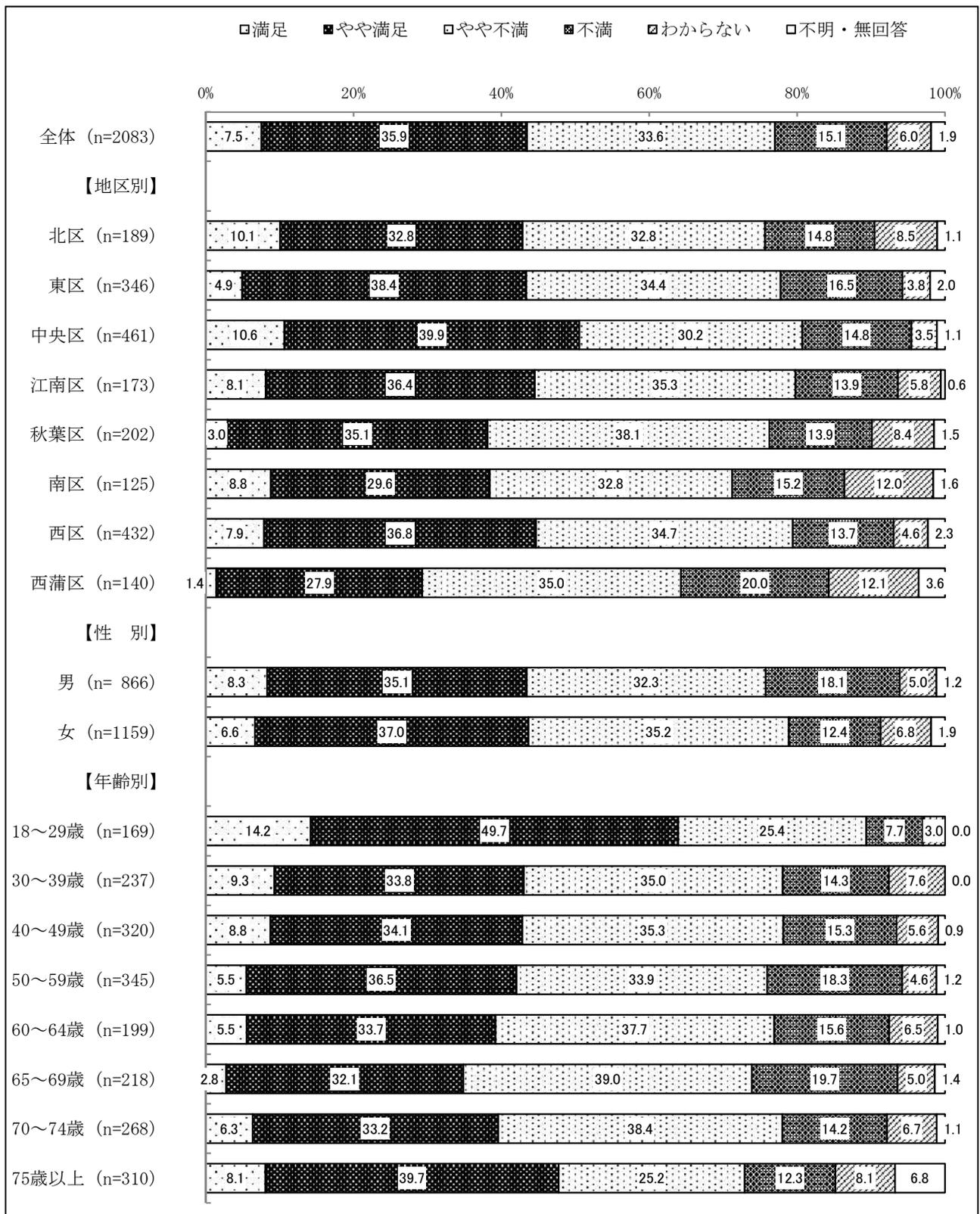
【全体結果】

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「安全性（安心して歩けるか）」（43.4%）で最も高く、4割以上となった。次いで「景観性（歩きたくなるか、景観がよいか）」（36.3%）、「快適性（段差がないか、十分な幅はあるか）」（35.5%）と続き、3割半ばを超えた。

【属性別結果】

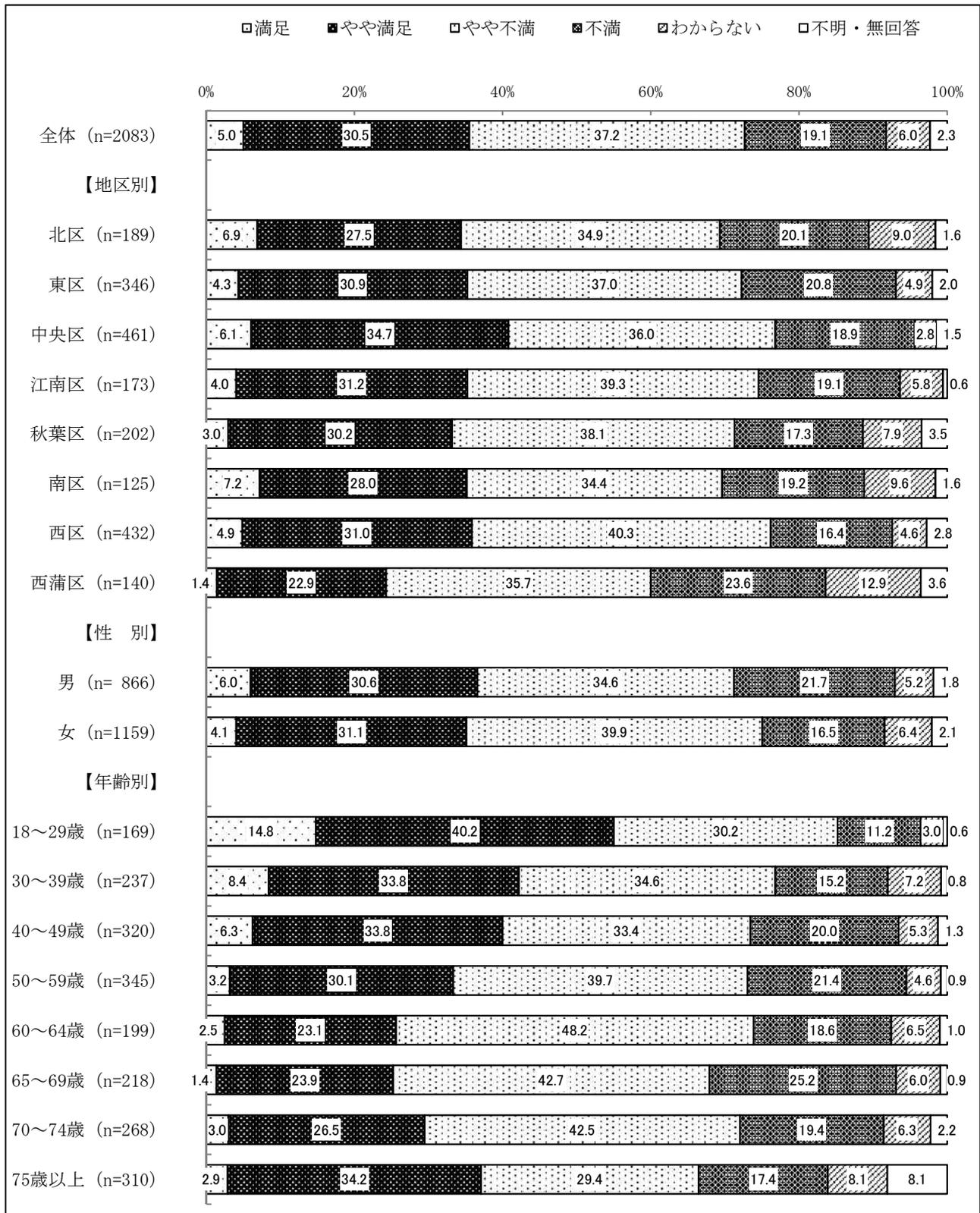
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 安全性（安心して歩けるか）



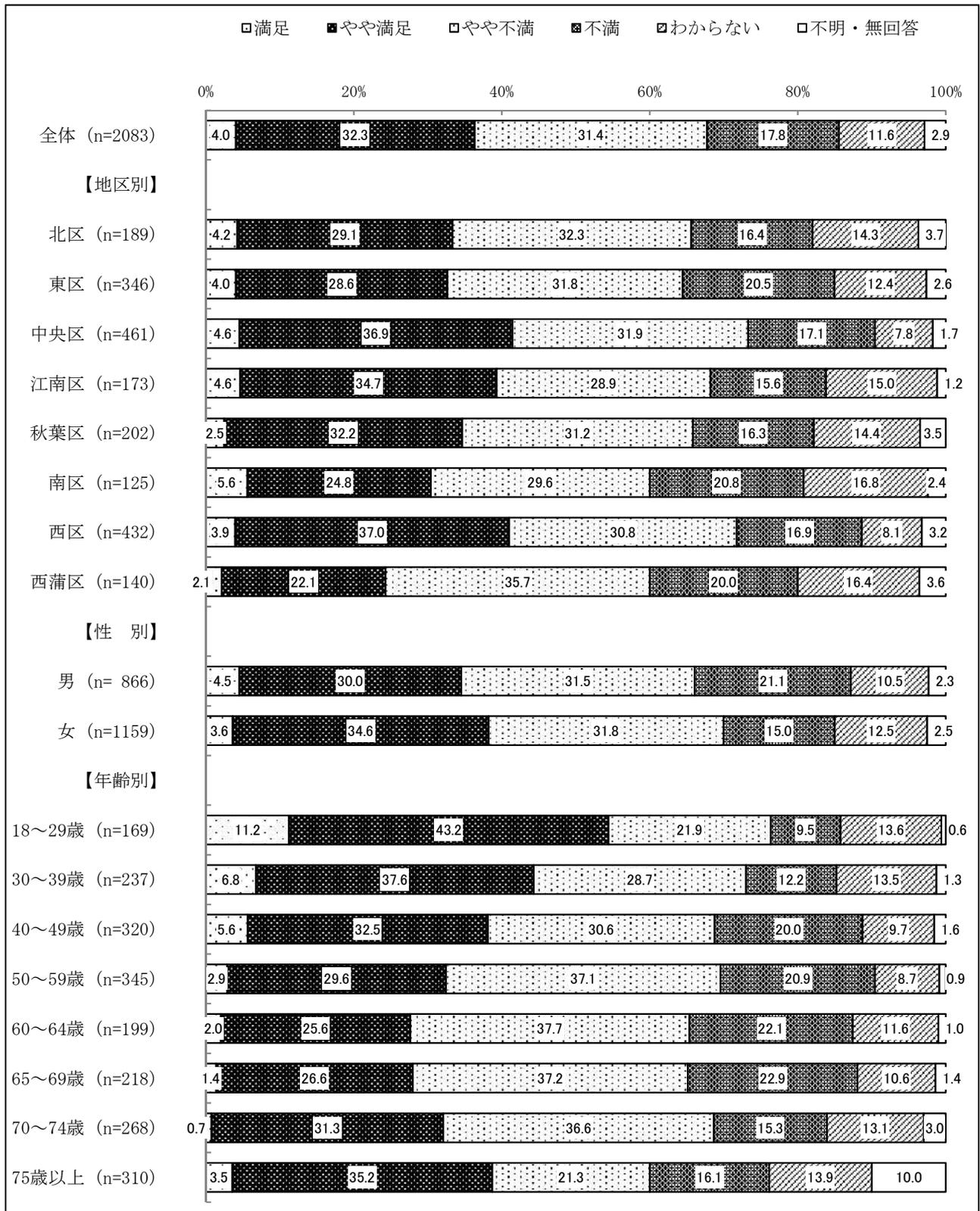
『満足』と回答した割合は中央区（50.5%）で最も高く、5割を超えた。西蒲区（29.3%）を除く、他の地区では4割前後となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（63.9%）で最も高い結果となった。

② 快適性（段差がないか、十分な幅はあるか）



『満足』と回答した割合は中央区（40.8%）で最も高く、4割を超えた。西蒲区（24.3%）を除く、他の地区では3割台となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（55.0%）で最も高い結果となった。

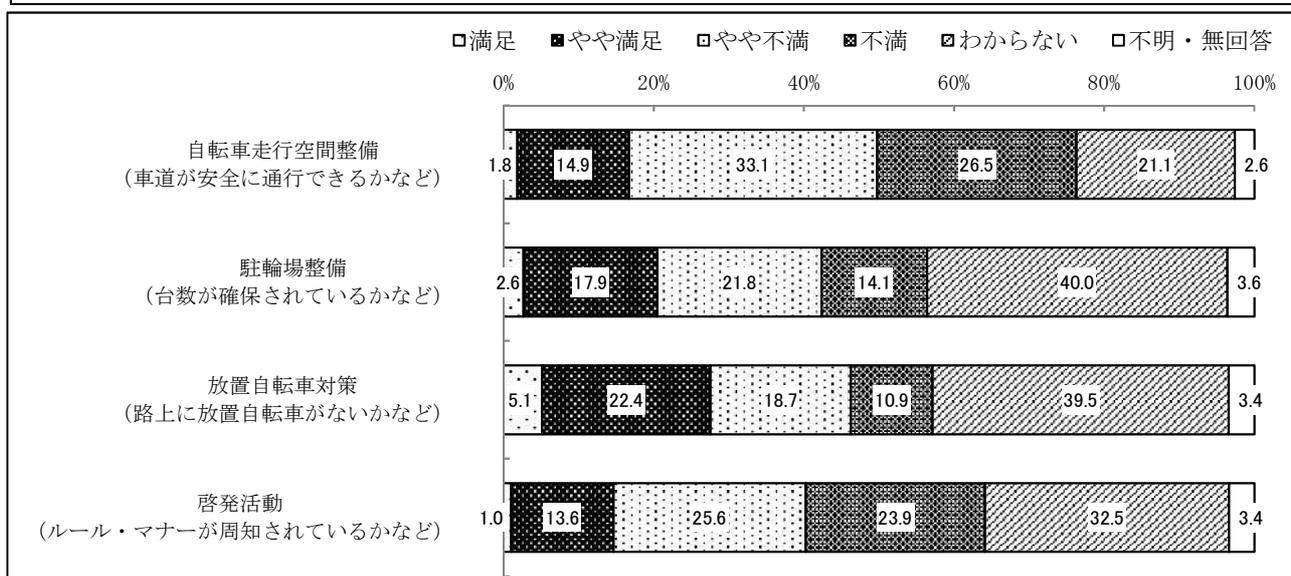
③ 景観性（歩きたくなるか、景観がよいか）



『満足』と回答した割合は中央区 (41.4%)、西区 (41.0%) で4割を超えた。西蒲区 (24.3%) を除く、他の地区では3割台となった。男性 (34.5%) と比べて女性 (38.2%) で割合がやや高い。年齢別では18～29歳 (54.4%) で最も高い結果となった。

(4) 新潟市が行っている取り組みへの満足度

問21 市では「自転車走行空間整備」、「駐輪場整備」、「放置自転車対策」、「啓発活動（自転車の利用促進、ルール・マナー啓発）」を行っています。それぞれの取り組みに対するあなたの満足度を教えてください。（〇はそれぞれ1つずつ）



— 満足度が高いのは「放置自転車対策」で3割弱 —

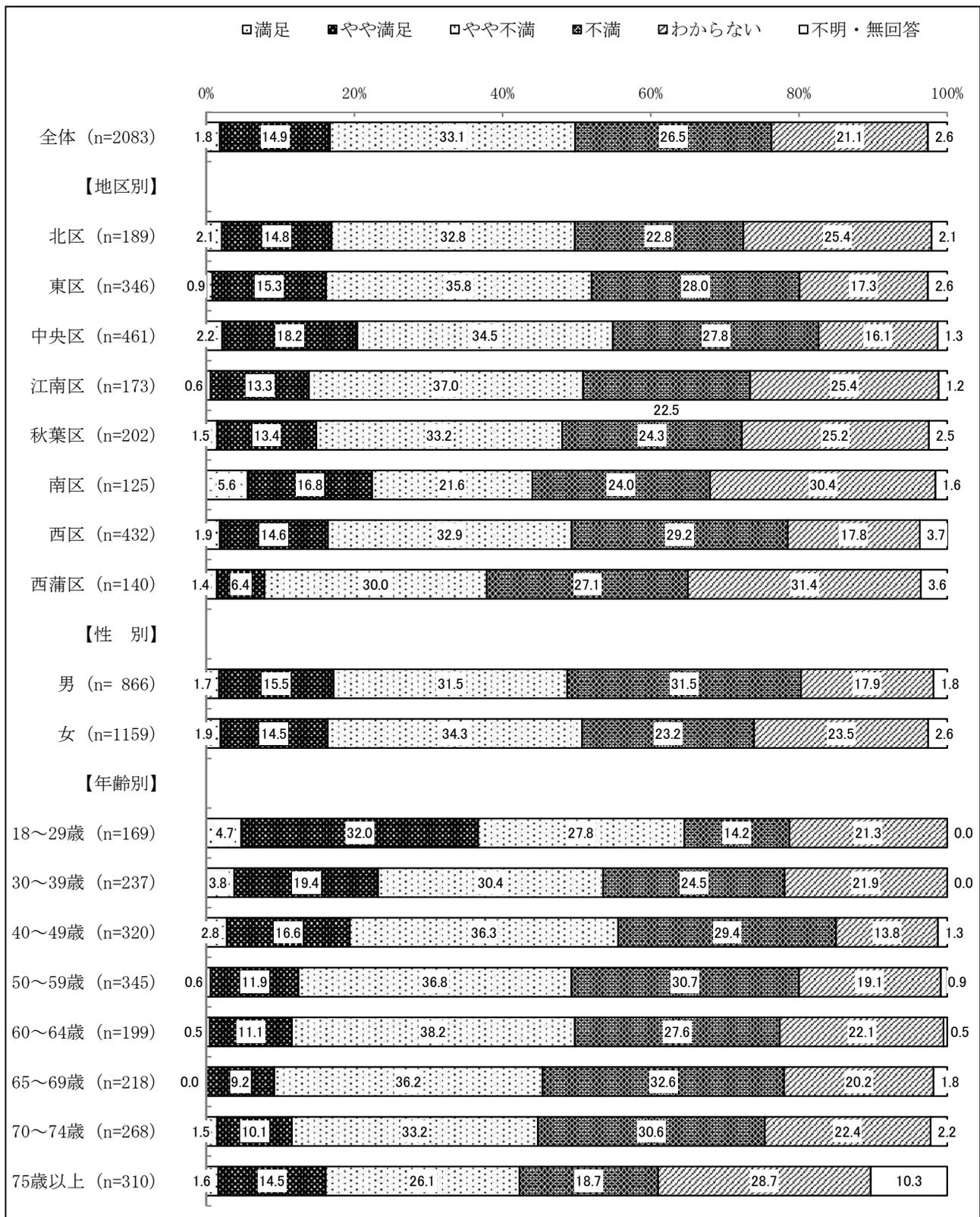
【全体結果】

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）」(27.6%)で最も高く、3割弱となった。次いで「駐輪場整備（台数が確保されているかなど）」(20.5%)、「自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）」(16.7%)、「啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）」(14.6%)と続いた。

【属性別結果】

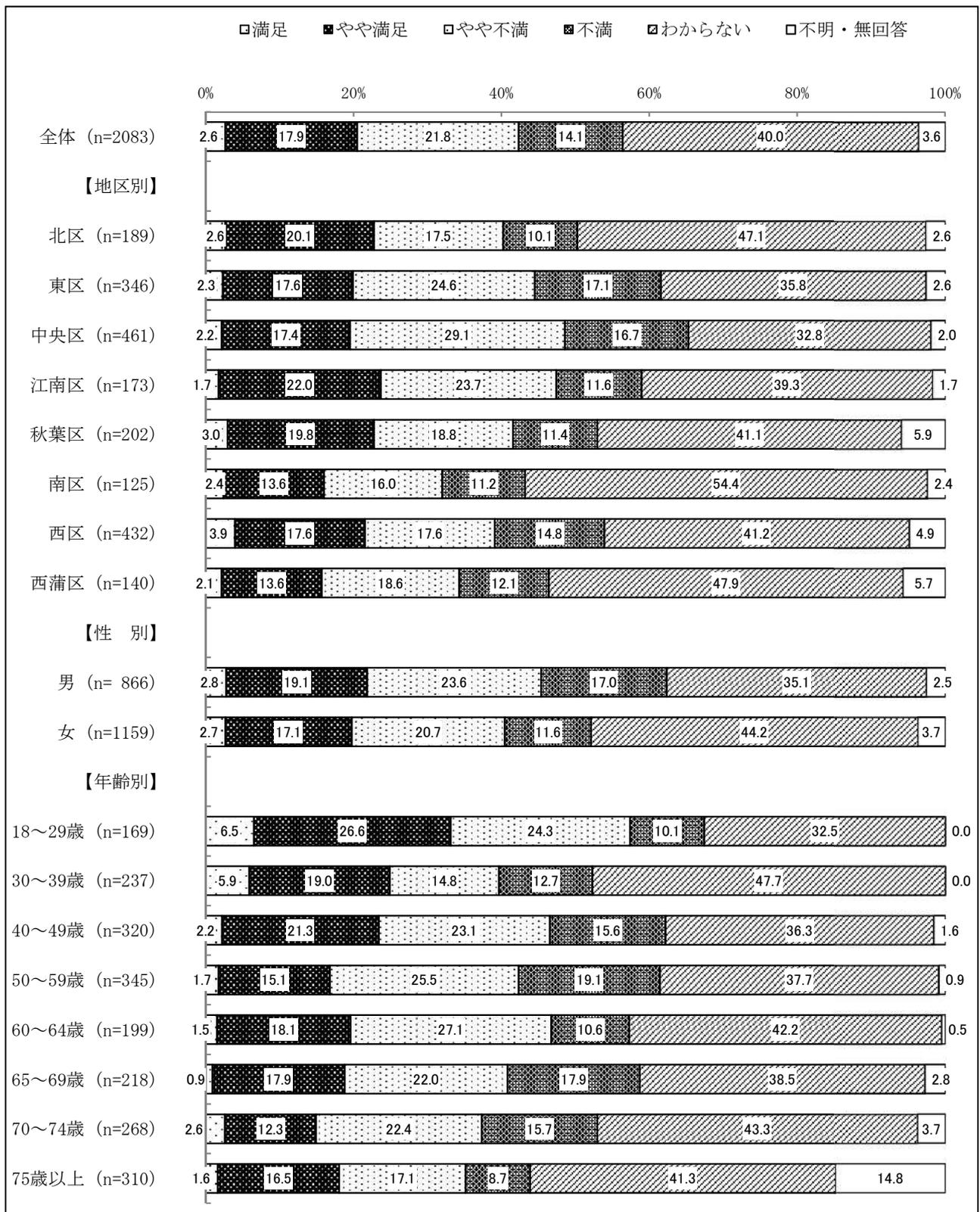
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）



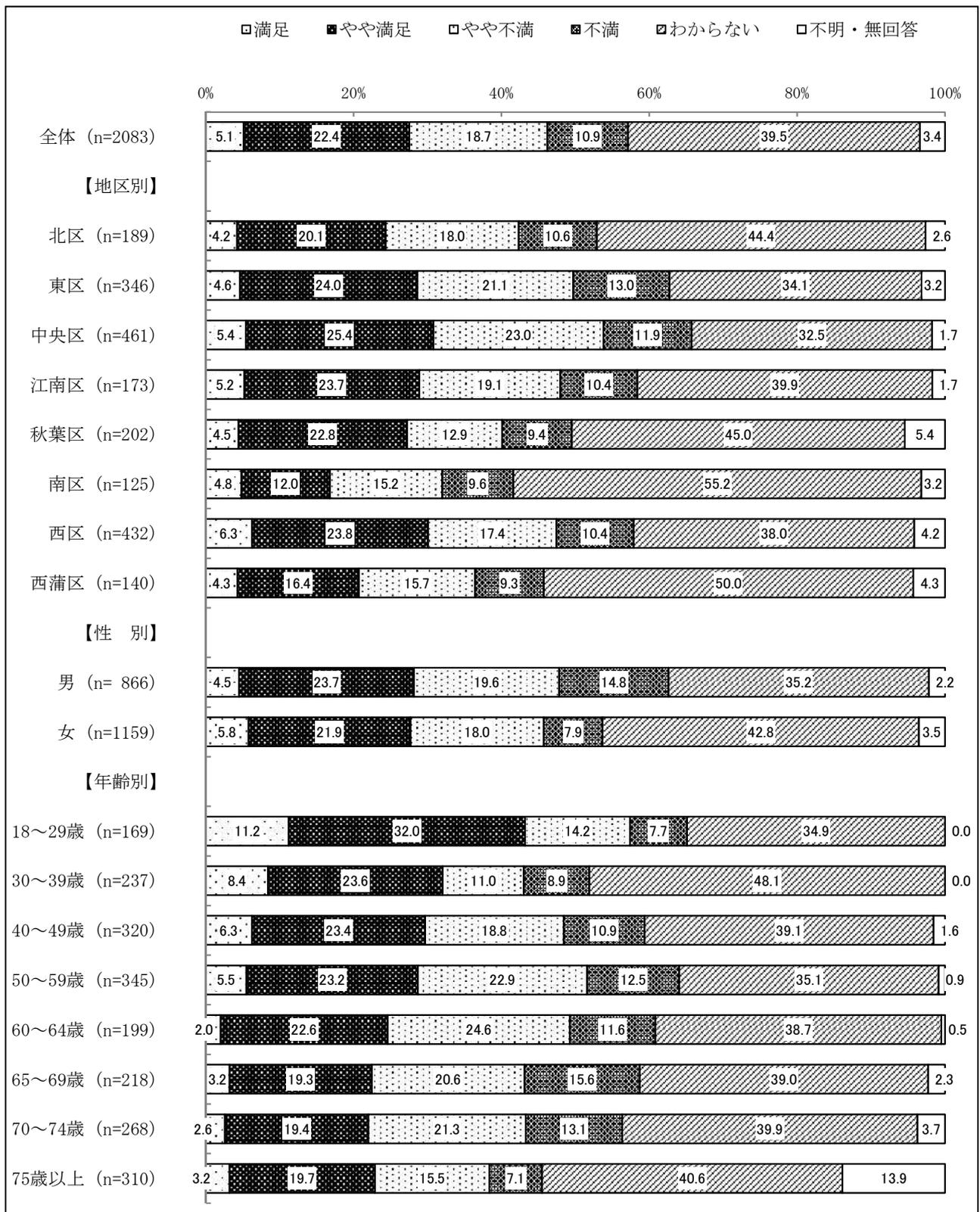
『満足』と回答した割合は南区 (22.4%)、中央区 (20.4%) で2割を超えた。西蒲区 (7.9%) を除く、他の地区では1割台となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳 (36.7%) で最も高い結果となった。

② 駐輪場整備（台数が確保されているかなど）



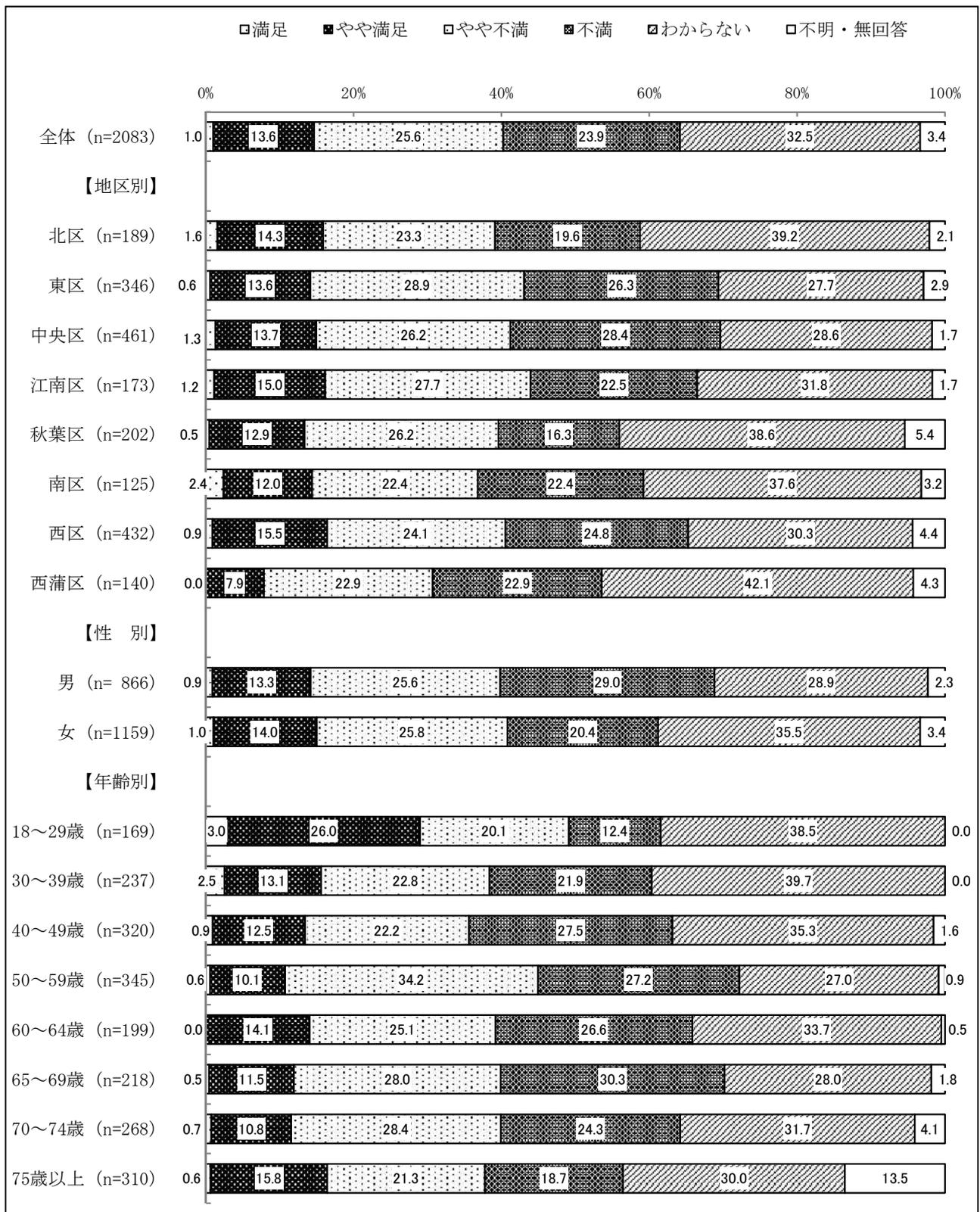
『満足』と回答した割合は江南区 (23.7%)、秋葉区 (22.8%)、北区 (22.8%)、西区 (21.5%) で2割を超えた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳 (33.1%) で最も高い結果となった。

③ 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）



『満足』と回答した割合は中央区（30.8%）、西区（30.1%）で3割を超えた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（43.2%）で最も高い結果となった。

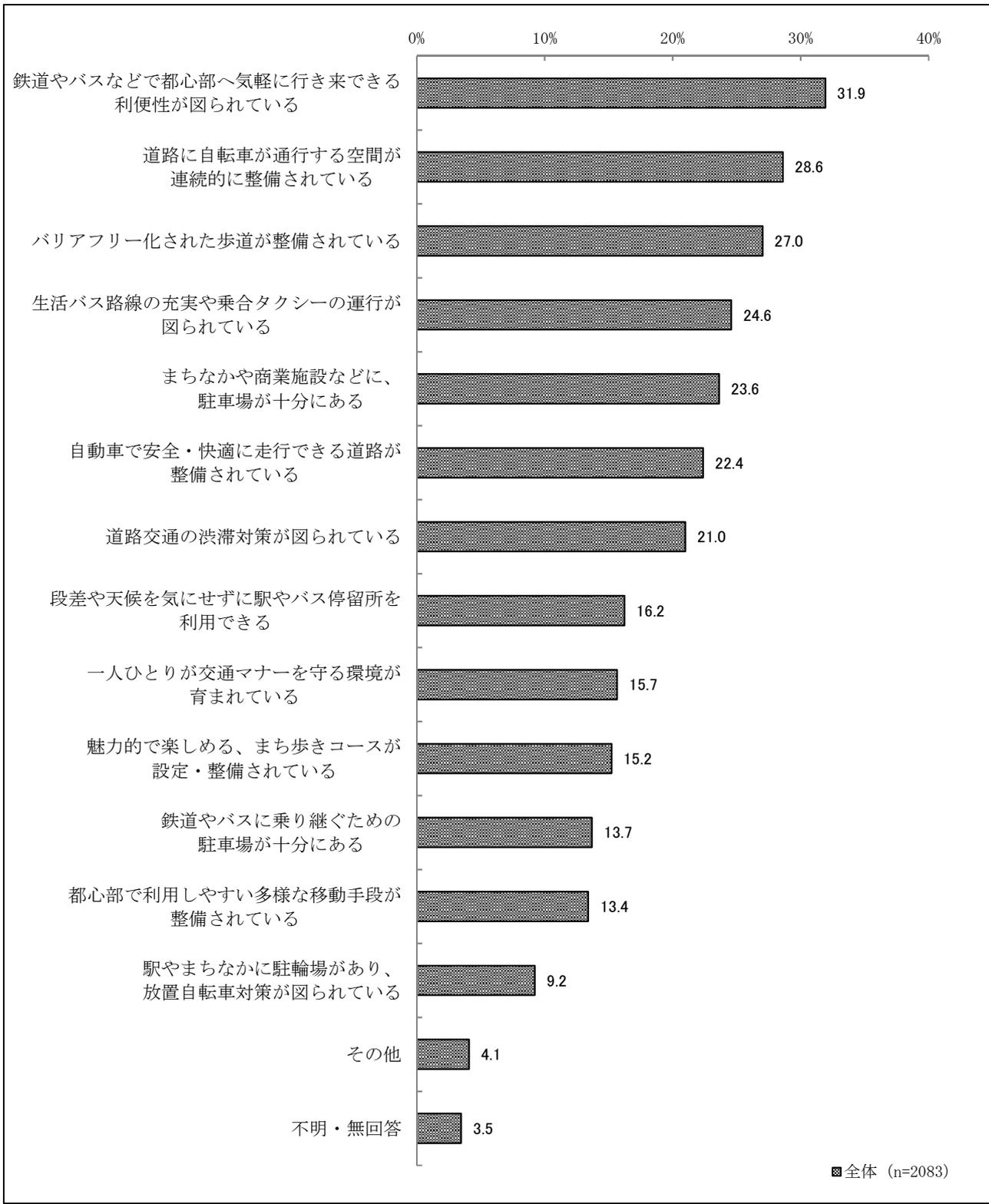
④ 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）



『満足』と回答した割合は西蒲区（7.9%）を除くすべての地区で1割半ば程度だった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（29.0%）で最も高い結果となった。

(5) 「移動しやすいまち」として必要なこと

問22 あなたにとって「移動しやすいまち」であると実感できること、また、「移動しやすいまち」を実感するために必要だと思うことは、次のうちどれですか。(〇は3つまで)



【全体結果】

「鉄道やバスなどで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている」(31.9%)の割合が最も高く、3割強となった。次いで、「道路に自転車が通行する空間が連続的に整備されている」(28.6%)が3割弱となった。次に「バリアフリー化された歩道が整備されている」(27.0%)、「生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている」(24.6%)、「まちなかや商業施設などに、駐車場が十分にある」(23.6%)、「自動車で安全・快適に走行できる道路が整備されている」(22.4%)、「道路交通の渋滞対策が図られている」(21.0%)が2割台で続く。

【属性別結果】(次ページ図4-2参照)

① 地区別

「鉄道やバスなどで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている」については、西蒲区(39.3%)で最も高く、中央区(24.9%)を除くすべての区で3割を超えた。

② 性別

「生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている」については、男性(20.4%)に比べて女性(27.8%)で割合が高い。「道路交通の渋滞対策が図られている」については、女性(18.5%)に比べて男性(24.7%)で割合が高い。

③ 年齢別

「鉄道やバスなどで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている」は、18~29歳(39.1%)で割合が高く約4割となり、年齢が高いほど割合が低くなる傾向にある。

図 4-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別/性別/年齢別） 1/3

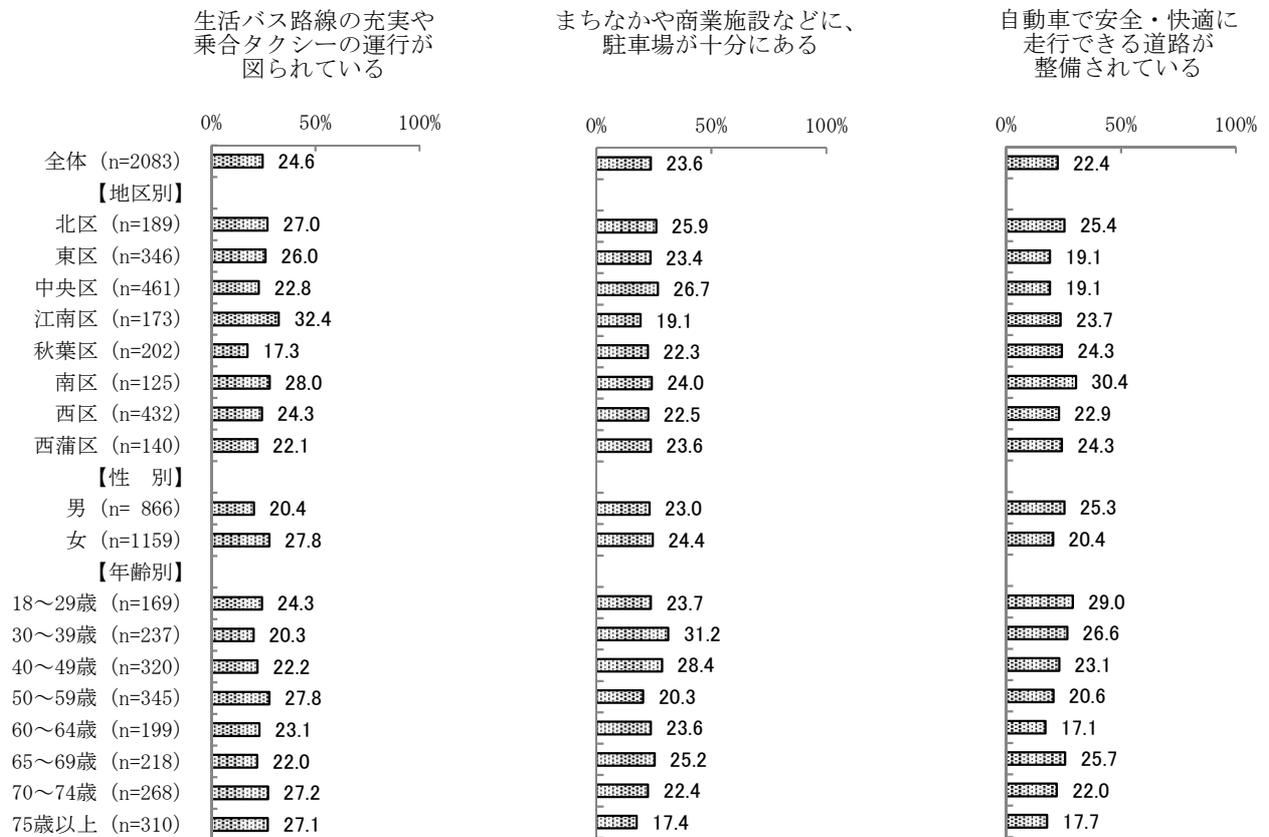
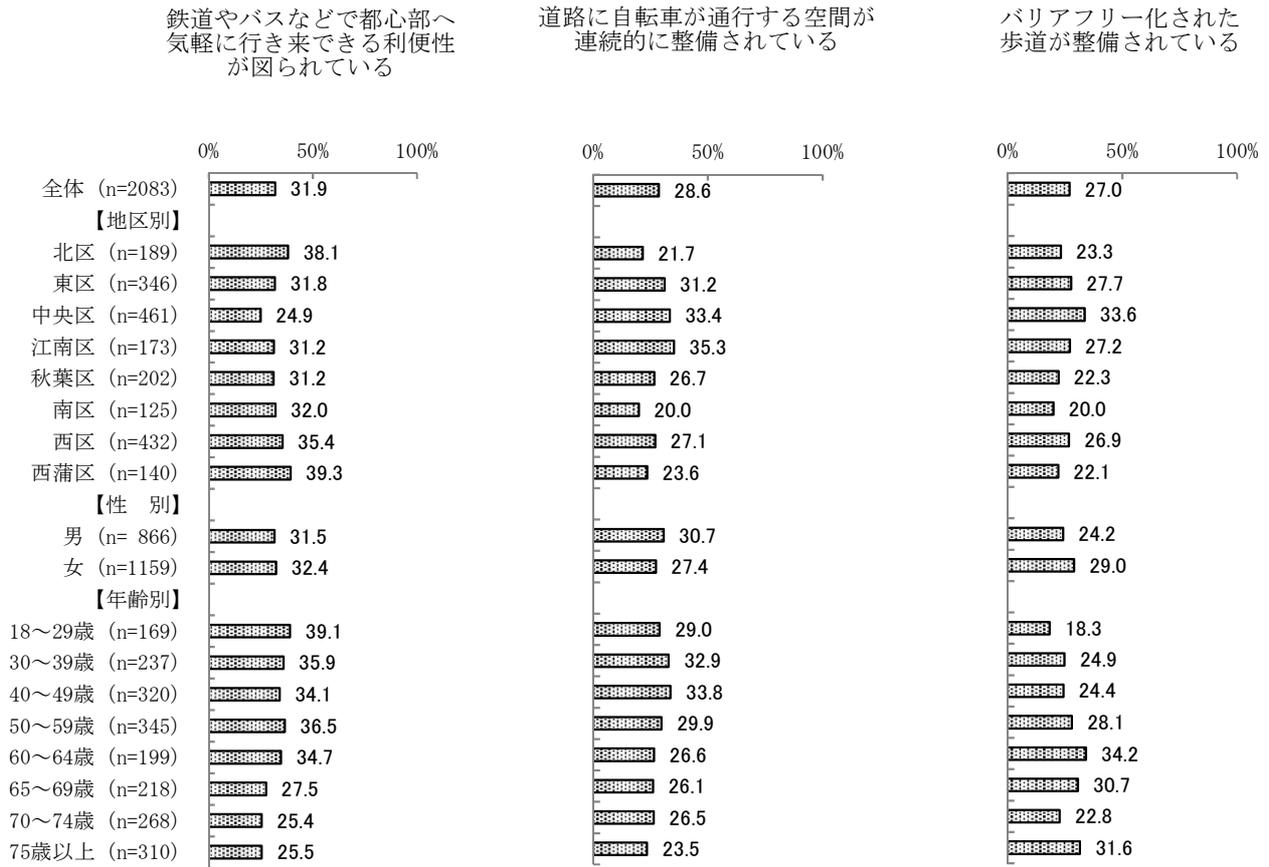


図 4-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別/性別/年齢別） 2/3

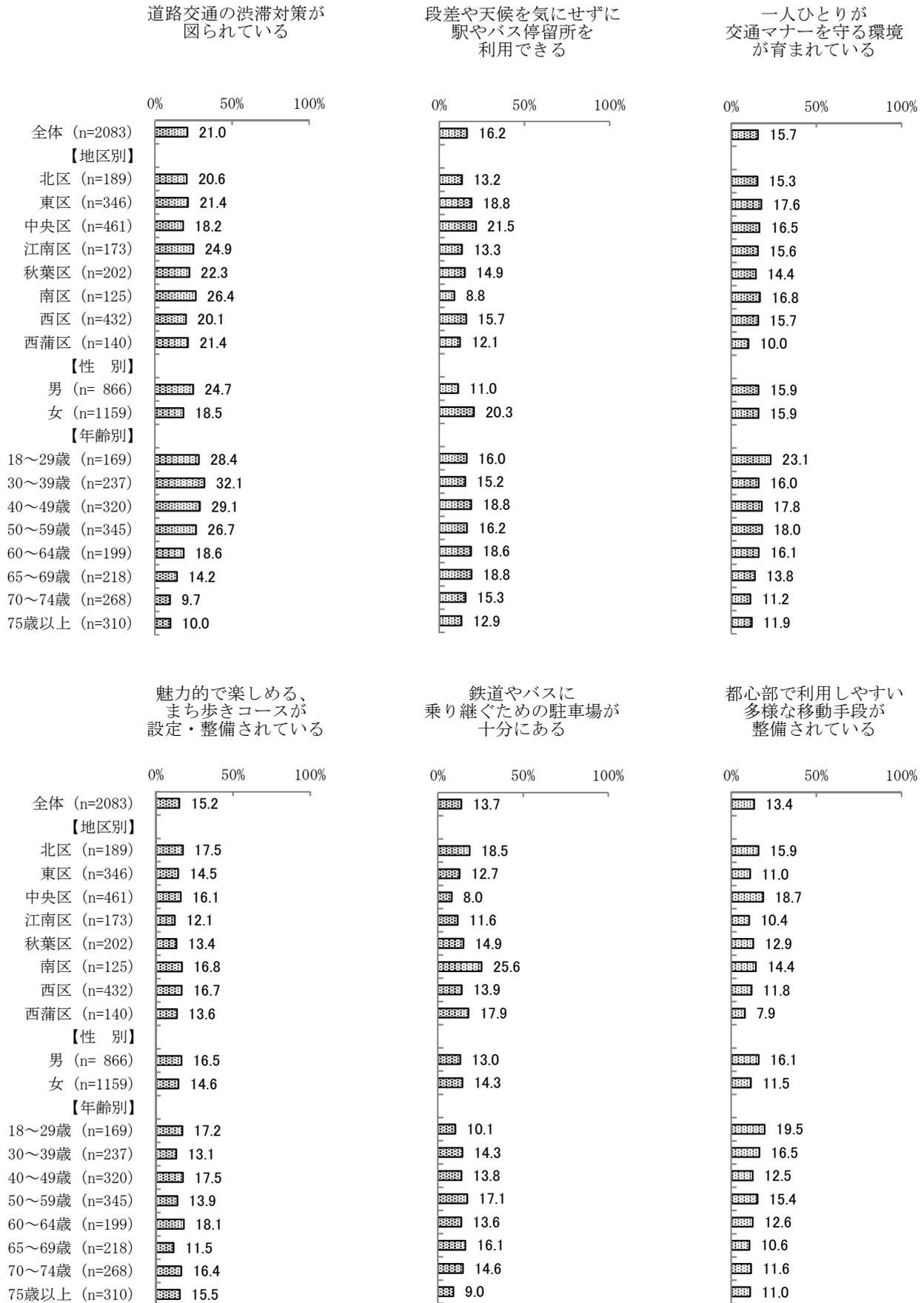
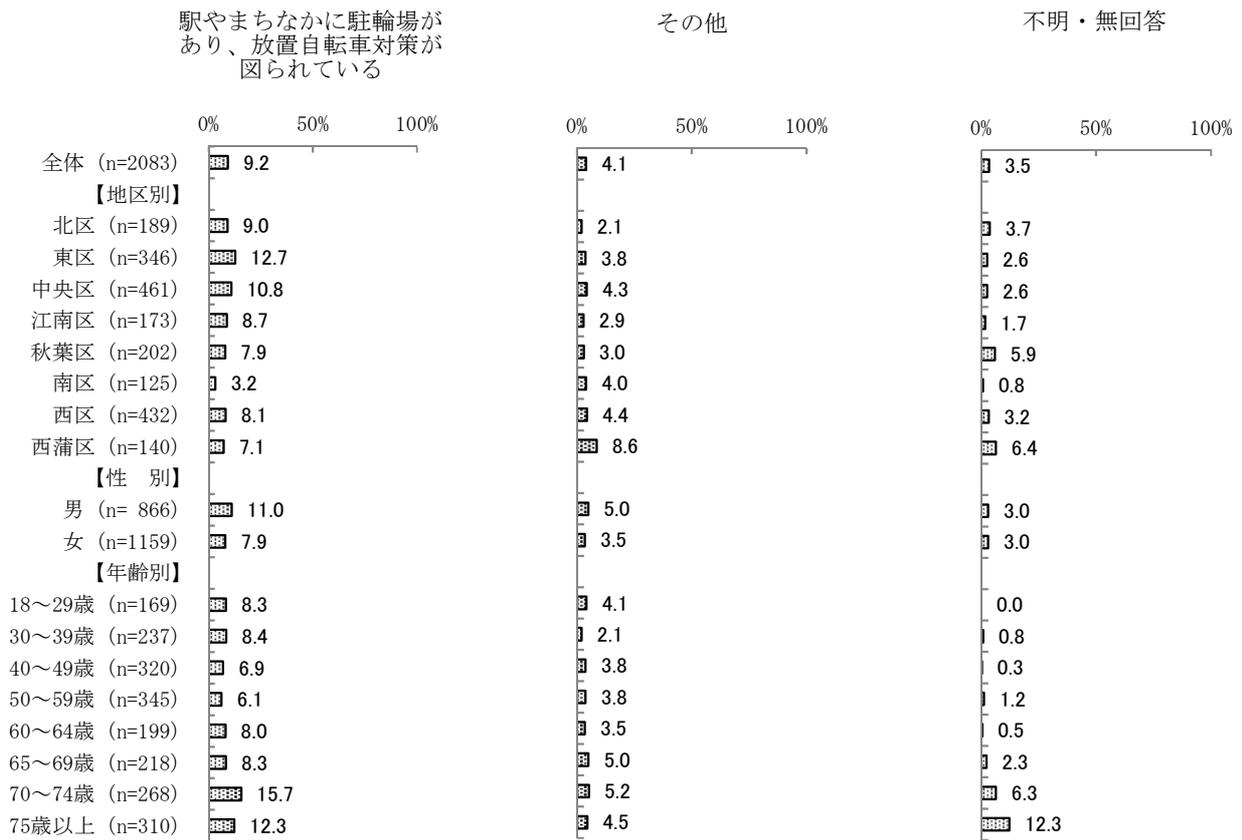
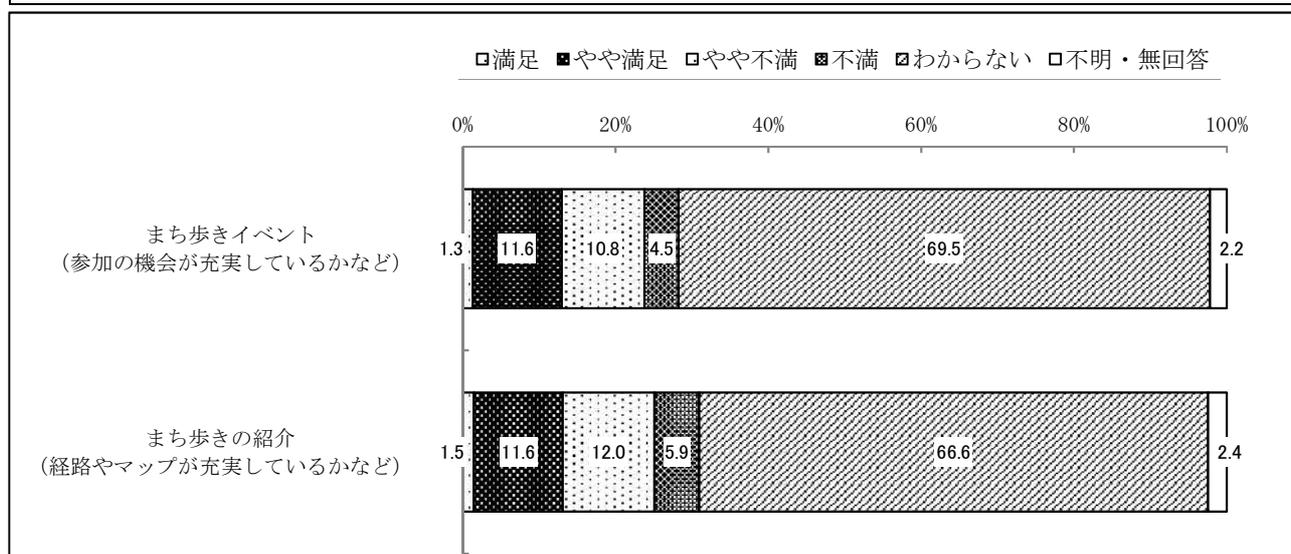


図 4-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別/性別/年齢別） 3/3



(6) まち歩きに対する満足度

問23 近年、健康意識の高まりや街の持つ魅力が再認識され、まちなかの散策を楽しむ「まち歩き」が広がりを見せています。そこで、「まち歩き」に関する現状についてお聞かせください。(〇はそれぞれ1つずつ)



— 「まち歩きイベント」、「まち歩きの紹介」ともに1割強が『満足』 —

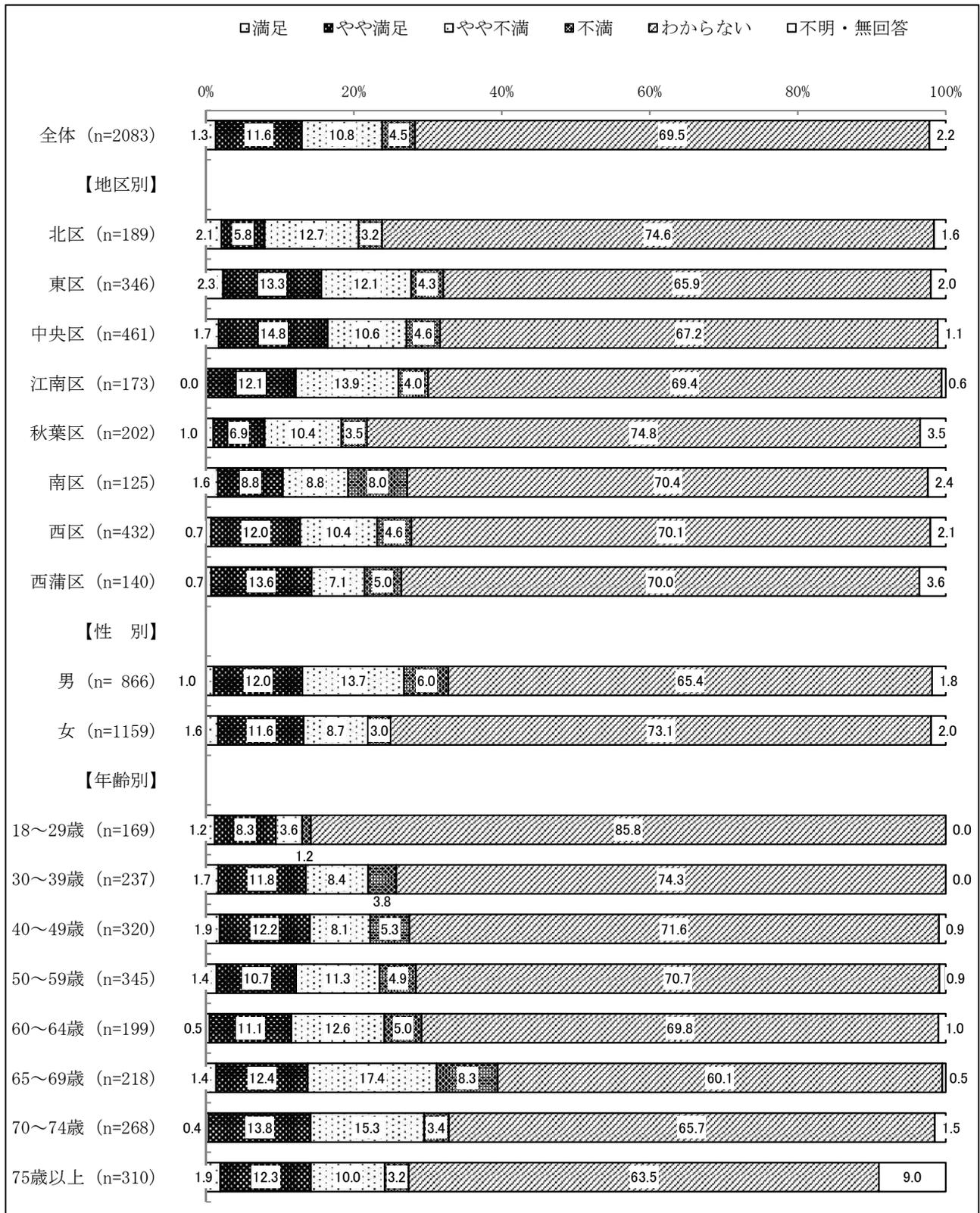
【全体結果】

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合は、「まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）」(13.0%)、「まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）」(13.1%) とともに、1割強となった。一方、「わからない」の割合はいずれも6割を超えた。

【属性別結果】

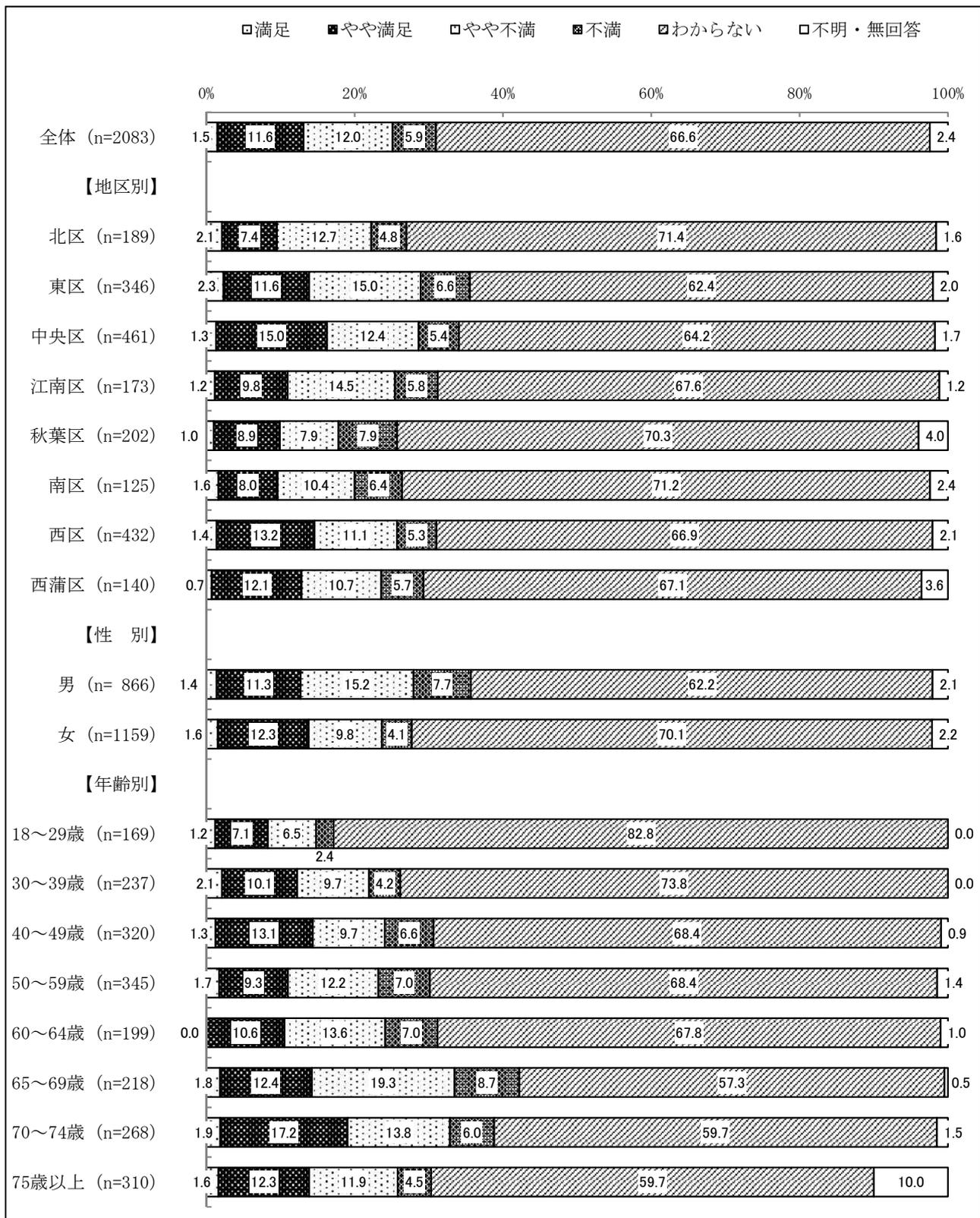
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）



『満足』の割合は、中央区（16.5%）で最も高く、1割半ばとなった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、70～74歳、75歳以上（各14.2%）が最も高く、1割半ばとなった。

② まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）



『満足』の割合は、中央区（16.3%）で最も高く、1割半ばを超えた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、70～74歳（19.0%）が最も高く、約2割となった。